

指定管理者総括調書（令和4年度）

基準日 令和 5年 3月 31日

施設名	大牟田市花ぶらす館		
担当部署	産業経済部産業振興課	電話番号	0944-41-2724

I 指定管理者の情報

指定管理者名及び代表者名	みらい広告出版株式会社 代表取締役 島 哲男		
指定管理者の所在地	大牟田市大字久福木652番地5		
指定期間	令和2年	～	令和6年
指定管理者種類	<input checked="" type="checkbox"/> 市内企業 <input type="checkbox"/> 市外企業 <input type="checkbox"/> NPO・ボランティア団体等 <input type="checkbox"/> コミュニティ組織等 <input type="checkbox"/> 財団法人・社団法人・社会福祉法人・医療法人・学校法人 <input type="checkbox"/> その他		
業務の範囲	①花によるまちづくり及び緑化の推進に関すること ②都市と農村との交流促進に関すること ③地域の特産品の販売促進に関すること ④花にかかわる文化、産業等の情報発信に関すること ⑤その他花ぶらす館の設置の目的達成に必要なこと ⑥花ぶらす館の管理業務に関すること ⑦花ぶらす館の施設管理に関すること ⑧花ぶらす館の研修室・ギャラリーの利用許可に関すること ⑨その他花ぶらす館の運営に必要な業務		

II 施設の情報

所在地	大牟田市四箇新町2丁目1番地		施設 の 設 置 目 的	花のあるやすらぎの空間を提供するとともに、花やガーデニングに関する商品や農作物の展示販売による特産品の振興等を図り、もって本市の農業振興及び地域振興に資する。	
設置年月	平成12年10月	増改築年月			
施設の設置根拠	大牟田市花ぶらす館条例、大牟田市花ぶらす館条例施行規則				
施設の概要	敷地面積	4,135	m ²	【1階】物産販売所、ガーデン展示室 【2階】研修室、交流室、ギャラリー 別館(旧地域振興整備公団現地事務所) 駐車場120台	
	延床面積	1,875	m ²		
実施事業の概要	休館日	毎月第3水曜日、1月1日及び同月2日	開館時間	9:00～18:00	
	必須事業	事業計画書の作成 月例報告書及び事業計画書の作成 セルフモニタリング及び自己評価 市及び関係機関等との連絡調整業務 指定期間終了等に当たっての業務の引継等 花ぶらす館管理運営業務 利用料金の収受に関する業務 情報発信業務 その他の管理運営業務(苦情・事件の処理、災害等非常時の対応、市の貸与備品等の管理等)			
	提案事業	①箭フェア ②オームリンゴ発売開始・イベント ③花フェスタ ④秋の美り収穫祭 ⑤開駅22周年誕生祭 ⑥お正月用品セール ⑦春前のパンまつり			
料金	利用料金制度	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無			

III 施設の利用状況

施設利用状況等の推移	区分		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績
	開館日数	単位	日	349	351	351	
施設の総利用者数等	単位	人	157,264	180,496	193,668		
個別事業における利用状況等の推移							
利用料金収入	施設の利用料金収入	単位	千円	30	0	34	

IV モニタリング結果
管理運営評価シートの結果

評価結果	212点 / 285点	<table border="1"> <tr> <td>I 施設の運営</td> <td>109点 / 150点</td> </tr> <tr> <td>II 施設の管理</td> <td>92点 / 120点</td> </tr> <tr> <td>III 継続性・安定性</td> <td>11点 / 15点</td> </tr> <tr> <td>IV その他</td> <td>0点 / 0点</td> </tr> </table>	I 施設の運営	109点 / 150点	II 施設の管理	92点 / 120点	III 継続性・安定性	11点 / 15点	IV その他	0点 / 0点
	I 施設の運営		109点 / 150点							
II 施設の管理	92点 / 120点									
III 継続性・安定性	11点 / 15点									
IV その他	0点 / 0点									
	(平均点:3.7点)									

モニタリング項目に関するコメント

	コメント
I 施設の運営	コロナ禍の中、感染防止対策を講じながら、集客につながる自主事業を継続的に実施するなどして、積極的な運営が行われた。また、関係法令や契約書等の規定に基づきおおむね適切な運営が認められるものの、一部研修の未実施については改善を図られたい。行政と連携の上、引き続きニーズ把握に努め、利用者が望む商品展開やサービス提供等により施設の設置目的の達成を図られたい。
II 施設の管理	関係法令や契約書等の規定に基づき必要な点検を適宜実施する等、概ね良好な管理が行われている。ただし、施設管理に必要な研修や訓練については、確実に実施されたい。施設の老朽化に伴い修繕の必要な箇所が増えてくると思われるが、市との連携により迅速に対応し、利用者等が安全に、かつ快適に過ごせるよう管理を行っていただきたい。
III 継続性・安定性	新型コロナウイルスが収束していない中ではあったが、R4年度の来館者は前年度より増加していることにより、前年度より事業収入が増加していることは評価できる。来館者及び売上増に向けて創意工夫を行いながら、積極的に事業を展開していくことで、安定した経営となるよう改善を行っていく必要がある。
IV その他	

総 評

R4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症が収束していない中ではあったが、営業努力等の甲斐もあり来館者が前年度より増加するなどの明るい状況も認められた。開駅22周年誕生祭や地元企業商品の発売イベントを開催するなど、様々な自主事業を積極的に実施するとともに、新たに新商品開発への取組み、SNSやフリーペーパー等を効果的に活用した広報活動を行い、集客増・売上増に向けて努力を続けているが、来館者数及び売上はわずかな伸びとなっている。併せて、施設の老朽化は進んでいるものの、道の駅としての休憩機能、情報発信機能などの基本機能の提供や、施設の適正な管理は継続的に実施された。次年度はアフターコロナとなり、経済活動・社会生活が正常化していくことから、更に民間事業者の発想を活かした、利用者にとって魅力的なサービスの提供、ひいては安定した運営が行われることを期待したい。あわせて、地域の農業振興及び住民交流拠点としての地域振興、休憩機能、情報交流機能、利便機能という道の駅の基本機能を十分に発揮することができるよう、市としても支援をしていきたい。